

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3年	学科	全学科	必選	必履修
教科	地歴・公民	科目	歴史総合	単位	3単位
使用教材	第一学習社「高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来」 帝国書院「明解 歴史総合図説シンフォニア」				
学習目標	① 近現代の諸事象について、世界と日本の過去と現在を考察・理解し、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 ② 事象の意味や意義、特色などについて、歴史的な視点に着目し、概念などを活用して考察、構想、説明、議論する力を養う。 ③ 諸課題に主体的に取り組む態度を養い、多面的・多角的な考察・理解から国民としての自覚や他国尊重の大切さを自覚する。				
単元と内容					
1学期	第1部 歴史の扉 1 歴史と私たち 2 歴史の特質と資料	私たちの生活や身近な地域の諸事象を基に、日本や周辺地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化から歴史のつながりを考察し、表現する。歴史を叙述する基である遺物、文書、画像などの資料の必要性を理解し、考察し、表現する。			
2学期	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 18世紀の日本やアジア諸国と欧米諸国との関係を理解し、経済と社会、工業化と世界市場の形成を考察する。 立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解する。			
3学期	第2部 第3章 グローバル化と私たち	国際秩序の変化や大衆社会の形成に関して問いを表現する。 第一次世界大戦と大衆社会、経済危機と第二次大戦、国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 国際政治、世界経済と日本社会、現代的な諸課題を理解する。			
評価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解して、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。			
II	思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想することができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。			
III	主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしていて、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めようとしている。			
評価方法	観点 I	観点 II	観点 III	年間時数	
	1 ペーパーテスト点数 2 学習ノートの評価 (ノートづくりの技術)	1 ペーパーテスト点数 2 学習ノートの評価 (まとめ方) 3 課題レポート発表	1 学習ノートの評価 (自主学習部分) 2 課題レポート提出	予定	
				90 時間	
				実施	
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			